

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (近畿)	◎	百貨店（サービス担当）	・食料品フロアをリニューアルオープンすることで、乗客数の増加が期待できるほか、新たな催事の導入により売上の増加につながる。
	◎	家電量販店（企画担当）	・エアコンの買換えがかなり進んでいる。これからの気温上昇に伴い、更なる販売の加速が予測される。
	◎	乗用車販売店（支店長）	・株価の上昇に加え、国内経済や企業の景況も上向いているため、今後は確実に良くなる。
	◎	観光型旅館（経営者）	・政権の安定感や先行きの明るさから、旅行需要も良くなりつつある。
	○	一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	・3～4月にかけては、インバウンドから多くの予約が入るなど、一定の需要が見込まれる。
	○	一般小売店〔化粧品〕（経営者）	・春のカラー化粧品の動きは良く、商品に対する客の反応は悪くない。特に、ラグジュアリー関連ブランドの売上は前年比で10～20%の伸びとなっている。ギフト対応を狙った商材も好調に推移しているため、国内消費も伸びることが予想される。一方、インバウンドは回復にやや時間が掛かると想定している。
	○	一般小売店〔書籍〕（管理担当）	・現時点では、前年を上回って推移している。今後は大阪・関西万博の反動で売上が減少する可能性はあるが、景気が悪化しているとの判断にはつながらない。
	○	百貨店（売場主任）	・当グループでもインバウンド需要が後退しているものの、政権の安定による好景気への期待が株価の上昇につながり、都心店では富裕層による高額品の購入が、インバウンド需要の減少分をカバーしている。今後はこの傾向が郊外にも波及することが期待される。
	○	百貨店（販売推進担当）	・2026年度予算を策定して積極的な財政出動が実現すれば、内需の拡大で景気が上向くことが期待できる。
	○	百貨店（外商担当）	・これからも株価の上昇が進行し、富裕層による高級海外ブランド品への需要は更に増える。
	○	百貨店（マネージャー）	・今年も春の賃上げ率は高水準が予想されるため、4～5月頃の景気はやや良くなる。
	○	スーパー（企画担当）	・気温の上昇で需要が伸びるアイスや飲料などは、前年と比べて販売量が増加し、ひな祭り商材の動きも良い。また、米の販売価格が下がりつつあり、販売量が増えたほか、売上全体も伸びている。
	○	スーパー（社員）	・先日の衆議院選挙の結果から、今後は更に消費を喚起するような政策への取組が出てくる。当面は、この期待感が家計の支出を支えることが予想される。
	○	スーパー（企画）	・食料品の物価上昇がやや落ち着きつつあるほか、政府の物価対策もあり、今後は食料品への支出も増えていく。
	○	コンビニ（経営者）	・毎年2～3月は飲食店が暇になるが、春になればイベントが増えるため、景気が良くなると期待される。
	○	コンビニ（経営者）	・大阪・関西万博の閉幕による、売上の全体的な底上げ効果が続く可能性があるほか、今後は季節が良くなって観光シーズンに入り、インバウンドも増える。また、新商品の販売が増えることによる、売上の増加も期待される。
	○	衣料品専門店（店長）	・衆議院選挙の結果を受け、消費対策が明確に打ち出されたことで、客との会話でも期待感が強まっている。
	○	衣料品専門店（店員）	・繁忙期になるため、乗客数が増え、景気も上向く。
	○	家電量販店（経営者）	・2026年度の補助金の受付が再開すれば、販売量の増加が期待できる。
	○	家電量販店（人事担当）	・新生活需要が高まるシーズンに入り、進学や就職による家電需要の伸びが期待される。
○	乗用車販売店（経営者）	・車検の予約や、新車や中古車の購入予約が少し増えている。	
○	その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・季節の変わり目は気持ちも上向き、季節の新商材の購入が増えるほか、環境も変わる時期であるため、購入意欲も上がりやすい。今後は消費税減税にも期待したい。	
○	その他小売〔インターネット通販〕（オペレーター）	・送料無料キャンペーンが始まるので、受注の増加が期待される。	

<input type="radio"/>	高級レストラン（スタッフ）	・ゴールデンウィークに伴う集客が期待できる。
<input type="radio"/>	一般レストラン（経営者）	・季節要因も含めて、来客数が伸びる。
<input type="radio"/>	一般レストラン（店員）	・今後の景気対策の効果や、気候が良くなる影響もあり、上向くことが期待される。
<input type="radio"/>	観光型旅館（団体役員）	・気候も温暖になり、学生の卒業旅行などでにぎわいが出る。
<input type="radio"/>	都市型ホテル（客室担当）	・先行予約の取り込み状況は、土日祝限定ではあるが、比較的好調に推移している。卒業旅行や桜のシーズンは、特に好調な推移となっている。
<input type="radio"/>	通信会社〔貴金属オークション〕（経営者）	・金相場には乱高下が見られるものの、今後も上昇トレンドが続くため、年内は良くなるが見込まれる。
<input type="radio"/>	通信会社（社員）	・他社と同様の値引きやサービスの拡充が、客に認識されるようになっている。
<input type="radio"/>	その他レジャー施設（管理担当）	・工事関係者の利用に加え、春休みに入り、スポーツ合宿での利用も予定されている。
<input type="radio"/>	その他レジャー〔スポーツ施設〕（業務担当）	・スポーツ施設の運営管理事業では、ミラノ・コルティナオリンピックや、3月からのWBC（ワールド・ベースボール・クラシック）の開催など、2026年にかけてないほどスポーツの祭典が繰り広げられるため、スポーツを楽しむ気運が高まると予想している。ただし、経費などの高騰が、政府の対策でどこまで抑えられるかに左右されそうである。
<input type="radio"/>	その他サービス〔マッサージ〕（スタッフ）	・アロマオイルを使ったマッサージで服を脱ぐため、寒い時期よりも、暖かい時期の方が来客数は増える。
<input type="radio"/>	住宅販売会社（経営者）	・政局も安定し、将来的な経済の好調が期待できる。
<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・人出は同じような状態が続いている。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔野菜〕（店長）	・現時点では変化につながる要素が何もない。今後は現政権がどのような手を打ってくるのか、年金なども含め、低所得者対策の内容が問われる。その推移次第で状況が変わってくる。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔雑貨〕（店長）	・4月からは値上げラッシュが始まりそうである。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔呉服〕（店員）	・物価が高くなってくると、生活必需品から優先的に購入するため、ぜいたく品にまで手が回らないケースが多い。
<input type="checkbox"/>	百貨店（企画担当）	・中国からの航空便は、夏ダイヤ期間も減便が続くと報道があり、厳しい状態が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	百貨店（企画担当）	・消費の2極化の傾向は、今後も続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	百貨店（広報担当）	・国内客は引き続き堅調な推移が見込まれる。百貨店でも価格にシビアな中間層が増えているが、富裕層の購買はますます旺盛であり、価値の増加が見込まれる商品は特に好調であった。その一方、免税売上は引き続き苦戦が予想される。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販促担当）	・国内の政局の安定や、景気浮揚策といったプラス要素と、米国の関税問題といった不安要素が入り交じるほか、今後の日中関係も含めて、予測困難な状況である。値上げの兆候は収まらず、自分への御褒美でケーキを買って帰る需要も明らかに減少している。その反面、イベントに対する支出は堅調であるため、値頃感のある商材を展開することが重要と捉えている。
<input type="checkbox"/>	百貨店（外商担当）	・中間層の低迷と富裕層の堅調という傾向は、今後も続く見通しである。ただし、世界情勢や金融市場に想定外の動きが発生すれば、悪化に向かう恐れもある。
<input type="checkbox"/>	百貨店（売場マネージャー）	・大きな改善や低迷が進む要素はなく、現状の景況感が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	百貨店（管理担当）	・今の厳しい状況が、しばらく続くことを予想している。
<input type="checkbox"/>	百貨店（マネージャー）	・全体的には変わらないと予想される。特に、国内の中間層の慎重な購買姿勢が変わらないなか、特典をうまく利用した購買姿勢が強いため、従来にないコンテンツによる集客が鍵となる。また、富裕層は一部で値上げ前の特需はみられるが、堅実な消費の内容に変化はないと予想される。空港関連の特需も4月で一巡するため、新たな連携による仕掛けがポイントとなるなか、全体的には変わらないと予想される。

<input type="checkbox"/>	百貨店（商品担当）	・国内情勢というよりも、日中関係や日米関係、為替、中東情勢といった海外情勢の影響が不透明であり、難しい状況である。
<input type="checkbox"/>	百貨店（宣伝担当）	・この春も高級ブランドを中心に価格改定が続く見通しであり、中国からのインバウンドの減少が続けば、厳しい状況となる。東南アジアや中東からのインバウンドの誘致を強化しているが、その母数が違うため、営業費の削減を進めざるを得ない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	・衆議院選挙の争点でもあった消費税減税が実施されれば、少し消費が上向く。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・消費税減税などが実現するまでは現状のままである。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・食品価格の上昇が4月以降もまだ続くため、生活防衛意識から、購買意欲が上向きになることは考えにくい。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・物価の上昇により、衣料品など、食料品以外への支出が必要最低限となっている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	・天候の影響で値上がりが進む可能性がある。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・競合店の出店もなく、消費マインドに変化はないと予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売促進担当）	・コストプッシュ型のインフレが継続しており、従来と同額の値引きやクーポンの魅力が低下している。利益を削ってでも販売促進を進めるかどうか、悩ましい状況である。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画）	・2月の売上は目標比で103.3%となった。単価上昇の動きが少し落ち着いたことで、前年比でも103.3%となっている。買上点数が戻ってきているが、物価上昇の落ち着きによる回復であるため、売上に大きな影響はない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・来客数は大阪・関西万博以前の水準にまで減った状態が続くものの、値上げによって客単価が上がっているため、売上はほぼ変わらない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・時期的に売上が伸びるが、物価の上昇によるコンビニ離れの影響もあるため、低い水準での現状維持が予想される。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・特に売上が増減するような要素はない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・現状のまま大きな変動はないと予想される。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・今と全く変わらず、厳しい戦いが続く。食品関連の消費税の減税時期を早め、客の購買意欲を向上させるとともに、高付加価値の家電商品に目を向けてほしい。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・賃上げには期待しているが、先行きは非常に不透明である。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・年度末に向けて人の動きが活発になり、自動車の動きも比例して増えるはずが、全く動きがない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（販売担当）	・平均株価が上がり、景気が良いような雰囲気はあるが、現場にはまだ実感がない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（役員）	・ガソリン税の暫定税率や、自動車税の環境性能割の廃止といった税制改革は、自動車の需要喚起につながる。ただし、自動車の価格高騰や電気自動車の販売不振への対応遅れが足かせとなり、大きな回復には結び付かない。価格面での訴求や、自動運転機能などの新たな付加価値のある車種の発売が望まれる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（販売担当）	・衆議院選挙の結果を踏まえ、景気回復への期待感はあるが、まだ先の話である。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔食品〕（経営者）	・インフレが続いているため、所得水準が上向くまでは変化がない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・株価や不動産価格の高騰のほか、人手不足の状況をみれば、景気は良いと判断されるが、実際には物価上昇による経費の増加で収益が圧迫されている。業界では物価上昇分の価格転嫁も難しく、景況感はそれほど良くない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔医薬品〕（管理担当）	・感冒薬などの医薬品や衛生用品の売上は、気温の上昇に伴い減少していく。その一方で花粉の飛散も始まっており、花粉症の影響が大きくなることから、予防商材を含めた花粉症関連商品が売上増の中心になる。食品や生活必需品は、値上げの影響で客単価が上昇しているが、買上点数に変化はないことから、今後も同様の傾向が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	・インバウンドの客層に少し変化がみられることが、どう影響するかは分からないほか、地金相場の高止まりにより、仕入れ、販売共に身動きが取りにくい。

<input type="checkbox"/>	その他小売 [ネット通販] (管理担当)	・値上げは今後も増えるが、購入客はそこまで減らないことが予想される。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン (企画)	・中国からのインバウンドの減少を、国内旅行客の増加でカバーする状況が続いており、今後も同様の傾向が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン (経営者)	・大企業では賃金のベースアップが可能でも、中小企業でも当たり前にならなければ、物価が上昇するなかで、買い控えの傾向は改善しない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン (経営者)	・物価の上昇に加え、春先はいろいろと物入りであるため、消費者の財布のひもは固く、外食の回数は減少傾向となる。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン (企画)	・ガソリンや軽油の暫定税率廃止、電気代やガス代の負担軽減策など、家計負担の減少策はプラスにはたらくと予想される。ただし、為替相場は安定せず、原材料価格の低下には至っていないため、3月の春闘に期待したい。
<input type="checkbox"/>	その他飲食 [ジャズバー] (店員)	・今後も物価の上昇が続くため、安心してお金を使うことができない。
<input type="checkbox"/>	その他飲食 [ファーストフード] (店員)	・現政権に交代し、経済が少し回りつつある。消費税減税に向けた動きもあり、景気が良くなっていく期待はあるが、インバウンドの減少もあるため、全体的には変わらない。
<input type="checkbox"/>	その他飲食 [自動販売機 (飲料)] (管理担当)	・政権も交代し、何となく良い雰囲気になっているが、生活は全く変わらない。
<input type="checkbox"/>	その他飲食 [洋菓子] (管理担当)	・食品に対する消費税減税については、一見プラス要素とみられるが、依然として物価上昇の影響は大きく、賃上げが進まない限り、し好品の売上増は期待しにくい。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル (経営者)	・3月も引き続き、個人客、団体客共に先行予約の状況は順調であり、4月も例年恒例の団体客の予約で順調な動きがみられる。ただし、5月の先行予約は少し厳しい状況である。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル (スタッフ)	・前年よりも国内客、インバウンド共に予約は伸びているものの、やはり中国からのインバウンドの利用が落ちている。宴会は例年並みを維持し、食堂部門にも大きなプラス要因はないものの、全体としてはプラスで推移している。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・3月に入れば、年度末で利用が増える見込みはあるものの、全体的な見通しは厳しい。
<input type="checkbox"/>	観光名所 (経理担当)	・大河ドラマの影響が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	遊園地 (経営者)	・4月以降の賃上げで、実質賃金の上昇が予想される。それらの見通しが大きく下振れするようなことはない。
<input type="checkbox"/>	ゴルフ場 (支配人)	・予約状況や単価の動きを考慮すると順調であるが、価格を上げると予約の動きが鈍くなるため、景気の動きに変化はない。
<input type="checkbox"/>	競輪場 (職員)	・依然として物価が高い状況であり、所得が増えなければ消費が増加することはないため、状況は変わらない。ただし、時期的に新年度が始まり、ゴールデンウィークにも入るため、消費が伸びる期待もある。
<input type="checkbox"/>	競艇場 (職員)	・賃上げや物価の上昇、海外情勢の変化に加え、政治的な影響など、様々な要因がどのように作用するのか、見極めるのは難しい。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設 [イベントホール] (職員)	・事業収入としては安定しているが、物価上昇の影響は大きく、コストの増加が進んでいる。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設 [球場] (経理担当)	・プロ野球が開幕し、公式戦が開催されるほか、多くのコンサートが予定されており、多数の来場者を予想している。
<input type="checkbox"/>	その他サービス [学習塾] (スタッフ)	・年度末を過ぎると、退会の動きが一旦落ち着くが、その間に無料体験などで入会者が増える見込みもある。全体としては現状維持か、少し減少する見通しである。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社 (経営者)	・当面は仕入コストが安定する見込みであり、一息ついている。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社 (企画担当)	・金利の先高感で購買意欲は上向いているものの、価格の上昇で購入層が限られている。
<input type="checkbox"/>	その他住宅 [情報誌] (編集者)	・現状は大きな変動要素が見当たらないものの、金融市場等での変動リスクは高まっている。
<input checked="" type="checkbox"/>	一般小売店 [時計] (経営者)	・当店の売上は時計の修理が多くを占めており、分解掃除や機械交換などの複雑な修理は、すべて職人に依頼している。徐々に職人の高齢化が目立ってくるなど、心配なことが増えており、当店の景気もその部分にかかっている。

▲	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・3月から食料品の一部で値上げがあったほか、電気代やガス代も上がると聞いている。生活必需品以外の買い控えが、これまで以上に増えることが懸念される。
▲	百貨店（商品担当）	・前年の大阪・関西万博の反動があり、苦戦を予想している。直接的な関連商材の売上減少はもちろん、インバウンド需要の低迷に拍車を掛ける状態となっている。それに対応し、改装などで来店動機を高めるほか、新規催事やイベントで集客力の向上を目指す。
▲	スーパー（経理担当）	・中東情勢が流動的になり、原油価格の高騰による更なる物価上昇も懸念される。賃上げがあったとしても、実質賃金の増加が実感できなければ、消費マインドは冷えたままとなる。
▲	スーパー（開発担当）	・毎月、物価の上昇が続いている。賃金が上がらず、物価だけが上がる状況では、景気が良くなる可能性はない。政府の景気対策もまだ実施されていない。
▲	コンビニ（店員）	・早急な物価対策が求められる。
▲	乗用車販売店（営業担当）	・物価の上昇もあり、新車の価格が上がっている。収入は変わらないなかで、乗換えが困難になってきている。
▲	都市型ホテル（客室担当）	・先行きの見通しは立たず、現政権の動き次第となる。
▲	旅行代理店（役員）	・物価や人件費、資材価格の高騰により、旅行代金は今後も上昇傾向が続くとみられ、販売量の増加は期待しにくい。2大テーマパークの周年イベントや北米でのサッカーワールドカップ開催といったプラス材料はあるものの、販売への影響は限定的とみられる。
▲	旅行代理店（支店長）	・新たな交流を促す材料が、現状は見当たらない。客の動きも落ち着いており、旅行以外に楽しみを見いだしている。
▲	通信会社（社員）	・3月は年間の需要期のピークであるため、5月に入れば閑散期となり、かなり落ち着くと予想される。
▲	通信会社（役員）	・大手キャリアの3G回線停波による買換え特需はなくなるが、他社との乗換えをめぐるキャリア間競争は続く。一方、客の買換え需要は一定の水準で安定しており、キャリアショップもこれを取り込んでいる。
▲	その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）	・今後も中国や香港からのインバウンドの減少は避けられない。台湾からの来訪も一巡したほか、行き先が都市から地方に移っているようで、全体的な動きが減少している。今後はインドネシアやマレーシア、シンガポールなどからのインバウンドの開拓が課題である。
▲	住宅販売会社（従業員）	・分譲マンション価格の高騰で、投資目的で購入された物件が中古市場に多く出ているが、その販売が進んでいない。金利の上昇もあり、今後は高額物件の売行きが鈍化すると予想される。
▲	その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	・今後は住宅ローンの未払が増え、企業の資金繰りも悪くなると予想される。
▲	その他住宅〔展示場〕（従業員）	・金利の上昇により、客の消費マインドは今後更に慎重化する。
▲	その他住宅〔住宅設備〕（営業担当）	・年度末の動きが一段落すれば、新規の工事件数がかなり減る見通しである。新規工事部門の売上減少は覚悟しておかなければならない。
×	一般小売店〔ガラス細工〕（店長）	・現状の客足から判断すると、良くなる兆しが見当たらない。
×	衣料品専門店（経営者）	・お金の使い道が衣料品に向かっておらず、食料品を購入するのが精一杯である。現状は、衣料品を買う機会も意欲もない。
×	衣料品専門店（経営者）	・物価の上昇に対して、給与所得が増加しない。
×	住関連専門店（店長）	・例年、春先の年度替わりの頃に、円安が進む傾向がある。また、多くの業界で更なる値上げが予定されているなか、これまでの経験上、当店のようなインテリア関連では客の予算が減り、買い控えが増えると予測される。
×	観光型旅館（経営者）	・予約の動きが少なく、進捗率も良くない。
×	観光名所（企画担当）	・引き続き、大阪・関西万博閉幕後の国内客の減少と、中国からのインバウンドの減少による影響が大きくなる。

企業 動向 関連 (近畿)	◎	木材木製品製造業（経営者）	・現在の為替水準では、以前のような利益が得られなくなっている。ただし、値上げの継続による客の窮状を考えると、容易には値上げできない。以前からより良い条件の仕入先を探しているが、なかなか信頼できる良い仕入先は見当たらないため、今までと同じ範囲で考えるのではなく、更に大きな範囲で探すことを検討している。春からは新たな供給先も含めて、新体制で事業を進めていくことで、業績の改善が見込まれる。
	○	食料品製造業（従業員）	・新規の案件が決まり、当社の弱い地域での販売が増加に転じる。既存の営業地域でも、販売価格の競争もあって多少は苦戦するものの、全体的にプラスとなる予定である。
	○	化学工業（管理担当）	・欧米各国との経済的な連携が進む。
	○	化学工業（企画担当）	・食品需要の低迷期で販売量が落ちているが、春が近づけば、需要が徐々に増えてくる。
	○	電気機械器具製造業（経理担当）	・ゴールデンウィーク頃までは、比較的動きは良いと予想される。例年の季節要因もあるが、今年は設備の改装計画がある取引先も多く、先行きが期待できる。
	○	輸送用機械器具製造業（経営者）	・取扱製品が需要期を迎えるため、良くなる。
	○	建設業（経営者）	・年度末にかけて、少し良くなることが予想される。
	○	輸送業（経営者）	・4月に取引先の担当者の異動が予定されており、その機会に多少の運賃の値上げが期待される。
	○	輸送業（サービス担当）	・政権の安定が株価の上昇につながり、雰囲気が良くなってきている。
	○	輸送業（商品管理担当）	・例年3～4月は家具販売の繁忙期であるため、売上は増える。
	○	その他非製造業〔衣服卸〕（経営者）	・春先に大企業による大幅な賃上げが進めば、消費の雰囲気は大きく変わる。また、政府による早期の予算執行で減税などが実現すれば、先行きの見通しは明るくなる。
	□	食料品製造業（管理担当）	・今のところは、景気の変動要因が見当たらない。
	□	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・取引先による格差が広がっている。
	□	出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	・イベントなどの企画も続くと予想されるため、売上は微増での推移となる。
	□	化学工業（経営者）	・原材料価格の改定だけではなく、廃番やメーカーの撤退などで、原材料そのものが入手できないケースも多い。その対応に追われて、売上の向上策にまで手が回らない。
	□	プラスチック製品製造業（経営者）	・一時は受注の間隔が開いていたが、元に戻った。ただし、在庫調整は終わったようであるが、受注が増える見通しはなく、一定の間隔が続くと予想される。
	□	窯業・土石製品製造業（管理担当）	・食料品に対する消費税の2年間の減税措置などが一時的には奏功するが、財政規律の問題で更なる円安が進めば、物価の上昇が収まらない可能性もある。全体としては、一進一退で変わらないと予想される。
	□	金属製品製造業（製造担当）	・変わらないか悪くなるかのどちらかであり、物価の上昇が続くなかで、注文が増えることはない。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・現状は引き合いなどが上向いているが、この3か月程度の景況に変化はない。
	□	一般機械器具製造業（設計担当）	・賃上げの動きが物価上昇を上回ることができず、消費者の動きは今後も厳しいと予想される。
	□	電気機械器具製造業（宣伝担当）	・季節要因による荷動きの変動はあるものの、景気の変動とは言い難い。
	□	建設業（経営者）	・働き方改革の影響で工期の設定が厳しく、建設資材価格の高騰や人手不足のなかで、受注競争が繰り広げられている。
	□	建設業（経営者）	・積雪の多かった冬が終わり、多少の需要喚起が期待されるが、賃金のベースアップが物価の上昇を上回るかどうかは定かではない。
	□	金融業〔保険〕（経営者）	・業種にもよるが、消費税率が下がっても物価の低下は期待できず、景気の上昇も見込めない。
□	広告代理店（管理担当）	・原価の高騰が続いているほか、最低賃金が上がっている。	
□	司法書士	・衆議院選挙は終わったが、2～3か月で大きな変化はない。	

	<input type="checkbox"/>	その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・年始早々から忙しくなく、今後も大きく変わる要素がない。
	<input type="checkbox"/>	その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・中国からのインバウンドの減少による影響は、ホテル業界では深刻な問題である一方、国内客の動きは活発化している。また、韓国や台湾、東南アジアからのインバウンドは引き続き堅調に推移していることから、大きなダメージはない。国内の物価上昇についても、今のところ大きな影響はない。
	<input type="checkbox"/>	その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・ここ2～3年の間に、商品の値上げが頻繁に行われてきたが、今年も値上げの動きが続いている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	食料品製造業（営業担当）	・3月以降は、一部の飲料価格が上がる予定である。売上の構成比が高い商品でもあるため、売上は少し悪くなると予想される。
	<input checked="" type="checkbox"/>	繊維工業（総務担当）	・問屋への販売が本来の流れであるが、エンドユーザーへの販売がメインになりつつあり、問屋は集客をしているだけになっている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他製造業〔履物〕（団体職員）	・良くなる要素がない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	輸送業（営業担当）	・日中関係が改善されない限り、売上が減少すると予想している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	金融業（営業担当）	・受注が増加しても請負単価が上がらず、引越時期に業務が集中して経費も増加するため、年間を通した利益の確保は厳しい。
	<input checked="" type="checkbox"/>	広告代理店（営業担当）	・例年、年度初めは広告出稿が控え気味になる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	経営コンサルタント	・米国のイラン攻撃が、商売に悪影響を及ぼさないと考えている経営者はいない。
	<input type="checkbox"/>	輸送業（営業担当）	・利益の確保のため、通販以外の運賃を上げ過ぎた結果、高額になった一般の荷物の送り控えが増えている。
	<input type="checkbox"/>	その他サービス業〔受託調査〕（調査担当）	・仕入先からは値上げを要請され、販売先からは値下げを要請される状況が、今後も続く。
	<input type="checkbox"/>	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・景気の見通しは厳しい状況である。経済対策などを講じる際は、リスクの明示が必要であるが、そのリスクを取りながら実施することも必要である。
雇用 関連 (近畿)	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（営業担当）	・新たに発足した安定政権の下で、積極的な財政政策が実施され、物価の上昇や社会保険料負担の増加など、国民の将来不安が徐々に解消されることで、消費意欲の向上が期待できる。
	<input type="checkbox"/>	民間職業紹介機関（営業担当）	・景況感への影響はないものの、インターンシップ関連の広報の前倒しが進んでおり、4～6月頃に求人メディアへの掲載やイベントの出展が増える見込みである。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（役員）	・外部環境に対する、先行き不透明感と期待感がきつ抗している。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（支店長）	・現時点で状況が好転するとの見込みは立たない。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（管理担当）	・ここしばらくは、景気の良くなる要因が見受けられない。
	<input type="checkbox"/>	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・地元企業の動きをみると、販売や宣伝、プロモーション費の動きが鈍い。
	<input type="checkbox"/>	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・新内閣が発足し、これから様々な政策が議論されるが、短期的に大きな変化はない。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・物価上昇や人件費の負担増に関する声もあるが、人材確保のための求人もあるため、大きくは変わらない。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・米国や中国経済の減速や、米国の関税上げの影響などを考慮すると、状況は変わらない。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・物価の上昇や人件費の上昇による影響が出ているが、人手不足の解消を優先する事業所が多く、求人数に大きな変化はないと予想される。
	<input type="checkbox"/>	学校〔大学〕（就職担当）	・就職関連では、悪影響と好影響のいずれの材料も見当たらない。
	<input type="checkbox"/>	学校〔大学〕（就職担当）	・一般企業の来年度の採用活動は既に始まっているが、医療技術職の採用活動は準備段階である。求人数はコロナ禍以前の状況に戻っているものの、医療機関によっては人手不足への対応が大きいようである。

□	その他雇用の動向を把握できる者	・大手企業を中心に、人員整理の実施や予定があるため、求職者の増減には注意が必要となる。
▲	人材派遣会社（営業担当）	・今後は労働力不足が更に深刻化するなかで、企業側は現社員の雇用維持や処遇確保に注力せざるを得ない。そのため、新規採用における賃金引上げなどの処遇改善にまで手が回らないのが実情とみられる。
▲	職業安定所（職員）	・時期的な影響で求人数は増加しているが、4月から離職者が増えることで、求人倍率は低下する。また、現状は余り影響がみられないが、日中関係の変化により、ホテル需要への影響が懸念される。
▲	職業安定所（職員）	・人手不足の企業がある一方、黒字リストラの情報もあり、求職者の増加が懸念される。
▲	学校〔大学〕（就職担当）	・米国の関税問題への懸念が払拭できず、景気の悪化傾向が予想される。
×	民間職業紹介機関（職員）	・建設業においては、年度初めから梅雨が明けるまで、仕事が少ない傾向となる。